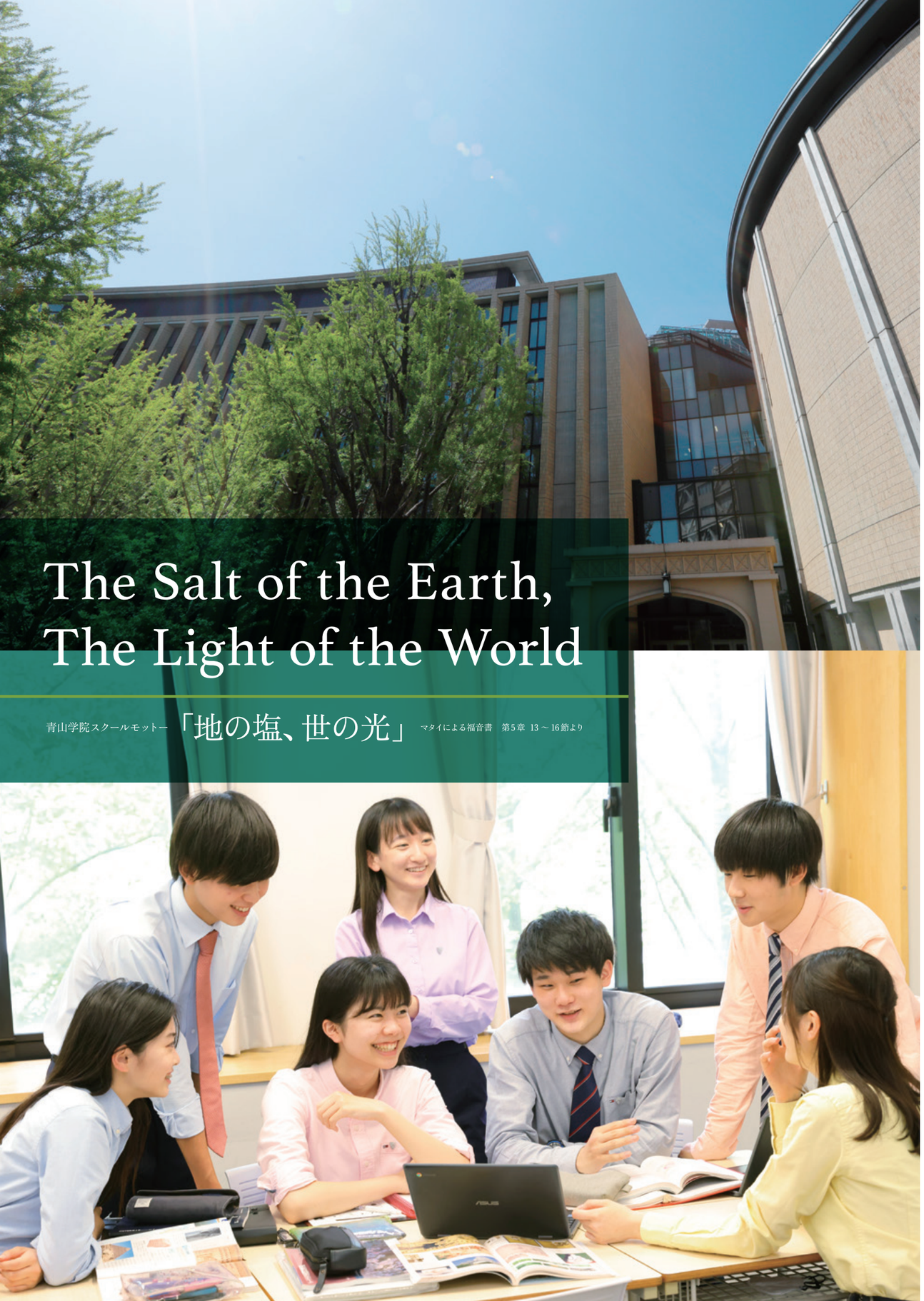


The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクールモットー「地の塩、世の光」 マタイによる福音書 第5章 13～16節より

青山学院教育方針

Educational Policy

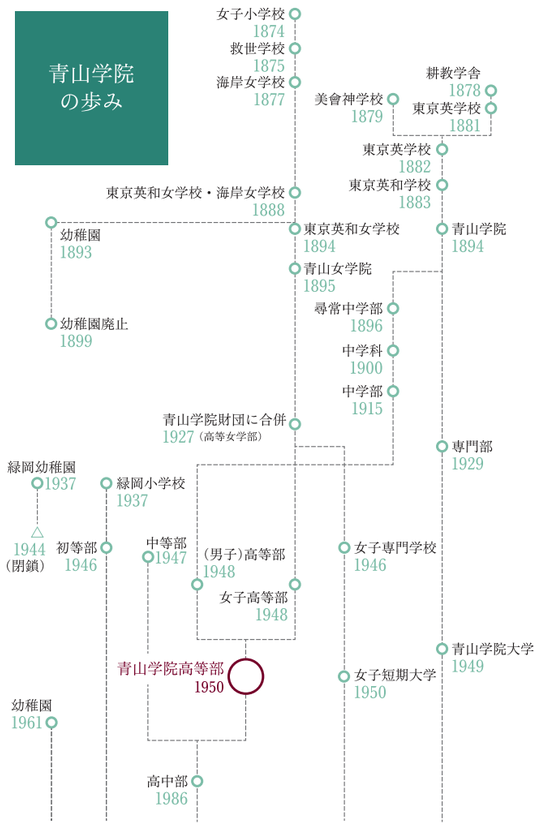
青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

高等部の教育目標

Object of Education

1. 礼拝と聖書の学びを通して、真実を求める心を培い、
   神や人生について深く考え、
   人を愛し人に奉仕する人間の育成に努める。
2. 教科の学習を通して、総合的判断力・洞察力を持ち、
   自分の人生の進路を切り拓く力をもつ人間の育成に努める。
3. 学校の諸活動を通して、集団の中で自分の果たすべき役割を知り、
   それを実行できる人間の育成に努める。
4. 国際的な視野に立って
   将来の社会に責任を負うことのできる人間の育成に努める。

この教育目標のもとに、さらに各教科の教育目標ができております。



高等部部長メッセージ

Message

Rejoice Always いつも喜んでいなさい。

“Rejoice Always”（いつも喜んでいなさい）は新約聖書の言葉ですが、みなさんはいつも喜びの中にいるでしょうか。青山学院高等部は、いつも喜びに溢れる学校を目指しています。

青山学院のスクールモットーは“地の塩、世の光”です。これは、私たち一人ひとりが地の塩であり世の光である、というイエス・キリストの教えによるものです。「塩」は味付けに欠かせないものであると同時に防腐剤としての役割をもちます。また「光」は、闇の中で道を照らすものです。この言葉は、世の中によい味をつけ、荒廃を防ぎ、たとえ世界が闇に包まれていても希望の光を与えていく、という人物像を示しています。このスクールモットーには、私たち一人ひとりが神に愛され賜物を与えられているということを知り、その賜物を活かして人々や社会に貢献できる人間になってほしいという願いが込められています。

私たちが生きていくこれからの時代は、先行きが不透明な時代であると言われています。経済・教育・環境問題など様々な分野が過渡期にあり、分断や格差が助長されかねない状況にもあります。テクノロジーの発展によりコミュニケーションの方法や仕事の形態も大きく変化し、人間の役割も変化しつつあるようです。しかしそのような中にあっても、私たちにはより良い社会を築くという普遍的な課題に取り組む使命があります。青山学院高等部は生徒一人ひとりが深い学びと豊かな経験を積み、世界に貢献する人になっていく礎でありたいという願いを持っています。深い学びとは、知識や技能を身につけながら「なぜそうなるのか」「何が大切なのか」「どうすればよいのか」を考え、真実や真理を追究し、自分の意志や主張を構築し、表現できるようになることです。一人ひとりが主体的に学ぶ探究者となることを互いに期待し合える環境がここにあります。また高等部には、キリスト教活動・国際交流プログラム・平和共生プログラム・高大連携プログラムなどの様々な活動が用意されています。これらのプログラムに積極的に参加して、グローバルな視野と愛と奉仕の精神をもって他者と共に生きるための素養を身につけることを多くの生徒に期待しています。

このような学びや活動を通して成功や充実感を経験すると、大きな喜びが生まれます。しかし一方で、時には失敗したり思い通りにいかないことがあったり、困難な試練が与えられたりすることもあります。そのような逆境の中にも喜べることや感謝できることがあり、むしろそれらの経験を通じて人として最も深い喜びの一つである他者との絆が深まったり、他者に貢献する喜びを体験できたりすることがあります。皆さんが、他者の役に立つことや社会に貢献できることの喜びを実感しながら、人との関わりにおいて本当に大切なことは何なのか、世界における自分の役割は何であるのかを学んでくれることを願っています。

高等部での学びが皆さん一人ひとりを成長させ、それぞれの賜物がこのグローバル社会で豊かに活かされ、皆さんの生活が喜びで満ち溢れることをお祈りしています。

青山学院高等部 部長
渡辺 健